

第3回 Y B a c t ミーティング議事要旨

開催日時：令和4年1月31日 午後7時～午後9時

会場：やぶ市民交流広場 旧グンゼ棟1階

参加人数：メンバー 11名、事務局 2名、阪急CM 1名（Web 参加）

資料1 事業計画立案の流れ

資料2-1 2022. 事業企画案一覧

資料2-2 企画案分類図

参考資料1 企画案関連 URL

参考資料2 野外アート展資料

参考資料3 防災と障がい理解

1. 開会

2. 芸術監督挨拶

- ・今日は第2回の会議の確認と、議題であるスタッフの体制等について市から確認と発表がある。それから、市民メンバー方々からたくさんのアイデアを寄せていただいているので、それを紹介していただき、検討していく。

3. 確認・報告事項

- ・第2回議事録に対して修正等の確認。

【スタッフの体制等について】

- ・青柳監督のコンサートについては、プロの方5人のスタッフを派遣していただき、2月13日の幸田さんのコンサートにも派遣していただく予定になっている。それ以降の分については、交渉中。
- ・青柳監督のコンサートでは、舞台関係の養父市のYBスタッフ、ホール関係者も8人程度参加し、プロの作業を見たり、疑問点や自分たちの技術の確認等を行った。

【スタッフ研修について】

- ・T2にスタッフ研修もお願いしていたが、残念ながら年度内の研修は難しいとのこと。しかし、T2からは、スタッフYBの方々も十分な知識と能力を有している方もたくさんおられ、実際に八鹿文化会館から引き続きの方もおられるので、設備や機械そのものに慣れれば十分ではないかというアドバイスをいただいている。当面はT2のサポートをいただきながらスキルアップをしていく。
- ・フロア周り（受付、もぎり等）については、芸文センターのほうでフロア周りを担当している企業に、3月に研修を実施していただけるよう調整している。

- ・その他に、専門職大学等でもワークショップなどで講座をお願いできればと考えている。
- ・スタッフの体制や今後のスキルアップ、研修、講座などについては、公民館が窓口になっているので、公民館と一緒に対応していく。

【舞台監督について】

- ・早急に舞台監督等を会計年度任用職員あるいは委託等で対応していきたいと思っている。長期的に市のホールに対応できるような体制ということで考えていきたい。

【空調について】

- ・客席が寒いという意見があったが、次回のコンサートから対策していく。

4. 協議事項（意見交換）

【本日の流れ】

- ・本日は、事前に市民メンバーの皆様からいただいた提案について、意見交換をお願いしたい。事務局ではいただいた提案について簡単にまとめているので、まずは、分野別に意見交換をお願いしていきたい。
- ・本日の意見交換後、市民アンケートや市民メンバーの皆様からいただいたアイデアを基に、出演アーティストとの日程や出演料などの調整をしながら計画策定を進めていきたいので、後日、青柳監督をはじめ、学識メンバーの皆様、そして事務局で本日までの意見を踏まえて相談しながら、来年度の計画を固めていきたい。
- ・アーティストとのアポイント等、御提案いただいた市民メンバーの方には、個別に御相談、御協力をお願いするかもしれない。
- ・調整の結果、計画には市民メンバーの皆さんの御意向に沿わない場合もあるかもしれないが御了承いただきたい。

【令和4年度事業計画（案）の作成について（資料1）について】

- ・企画案を事業内容や実施主体別に分類を行っている。意見交換を通して、ブラッシュアップした結果、分類の内容が変わってくることもあるかもしれないので、まずはこの分類をたたき台として話を進めていただきたい。

【2022.事業企画案一覧（資料2-1、資料2-2）について】

- ① オーケストラ公演他

- ・通常このような事業は、今から来年度を考えるとというのは遅く、日程調整等々も大変だと思うので、あくまでも来年度にこだわらない。
- ・文化庁の公演や、フルオーケストラだけではなく、子供対象、お年寄り対象という様々なノウハウを持っている。
- ・単発のものとして考えるのか、例えば恒例行事のような形で毎年同じオーケストラを呼ぶのか、そういう意味合いも込めて来年度に限らない。同じオケを呼ぶとすれば、どのような形で考えていくのか事務局にもお考えいただきたい。

② クラシックのタベ

- ・3、4年前に、大屋でベーゼンドルファーのピアノを入れて30年記念ということで、室内楽のコンサートをやった。(バイオリン・チェロ・ピアノのトリオ)
- ・質の高い音楽をやっていくことで、地域でのクラシックへの親しみや、幅を広げていくということがいいのではないかな。
- ・おおよそホールでも今後もそのような催しを続けていきたいし、YBファブでも開催できたら。

③ オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ吹奏楽コンサート

- ・市内中学校や高校に吹奏学部や、市内金管バンドもあるため、ぜひプロのウィンド・オーケストラをお願いしたいと思う。できればYBホール、大きなホールで思っている。

④ ジャズセッション

- ・プロの方や、但馬でジャズ演奏をされている方々のセッションができればと思っている。具体的には今のところは上がってないが、但馬内の方だと、幾つかのグループ関係にはつながっていけるのではないかなと思う。

⑤ おんがくたいがやってくるよ

- ・どちらかという路上パフォーマンスに近いような団体。一応YBファブでと書いているが、何かしらイベントがあるときに、その一部というような感じでもいかなとも思っている。
- ・POPでにぎやかな音楽という感じ。雰囲気はユーチューブや動画のサイトを送っているので、また見ていただければ。
- ・子供向け。場所に関しては外でもいいのかもしれないので、大きなイベントの中の一部とか、この前やってみたいにリハーサル室を空けて広場で聞く等もよいのでは。

⑥ D i V a

- おおやホールで1回やったが、このときは、作家さんが体調不良でおおやホールに来ていただけなかった。音楽と現代詩ということがおおやホールでもしたかったなということで、企画案を出した。
- おおやホールぐらいの大きさがいいかとは思いますが、YBファブには図書館も隣にあるので、文学や本の好きな人が音楽に触れるという、マルチメディアな感じで客層を広げるというのでもいいのかなと思う。

⑦ ドラム缶コンサート

- 大屋で、プロのパーカッションに月1回教えていただいております、毎年1回、大きなホールでのコンサートにおおやメンバーが参加している。今年は、ちょうどおおやのスティールパンの学校の母体が20周年ということで、ちょうど秋がツアーのような形になるので、せっかくなのでさせていただきたい。
- 集客を考えなくていいのだったら、YBファブ、大きなホールでさせてもらえたらと思う。おおやホールではもう既に2、3回やっており、毎回満席。
- 集客の方法だが、今世紀最後のアコースティック楽器ということや、このスティールパンを作る人が日本でただ1人だけ、その1人が養父市に住んでいるということ等、スティールパンの聖地にできれば面白いと思う。
- ドラム缶をへこましていってそれを作る過程のワークショップとか、子ども向けのワークショップもリハーサル室等を開放してもいいし、暖かければ芝生の上でみんなで演奏できてもいいかなと思う。

⑧ チベットの歌声とお話

- この方は知り合いなのだが、地元のお寺や職場で一度、歌とチベットの暮らしについて（なぜその方がチベットから日本に来られたか、どんな苦労があったか）の話をしてもらった。チベットの歌や日本の歌をおそらくマイクなしでされると思う。
- 学校公演のような形でもよくされているし、企業向けに研修がてらのお話もされて、歌を数曲というような形もあるが、ここは、おおやホールとか、関宮と養父等、小さいほうのホールでもいいかなと思う。

⑨ 中国音楽の夕べ

- たまたま知り合いに中国笛を吹く人がいて、中国の笛というのは一つではなくて、横笛、縦笛、土笛、木の笛、それから、クラリネットみたいにリードがついた笛、ひょうたんの笛と、その辺が全部吹けて初めて中国笛の奏者と言えるそう。それから揚琴とか、皆さんよく御存じの胡弓とか、中国琵琶とか、そういつ

たアンサンブルでも呼べると思うし、天翔楽団という大阪の中国楽器のオーケストラも、これも呼べればとても楽しい面白いと思う。

- ・民族音楽みたいなことばかり書いているが、日本の歌ももちろんしてくれる。ただ、天翔楽団は大きいので、もしかしたらもう来年度は決まっています、アンサンブルのほうは大丈夫かと思うが楽団のほうは難しいかも。

⑩ YouTuber と音楽セッション

- ・今、若い子で、本格的な音楽をしているわけではないが趣味でやっている等、結構ユーチューバーが大好きだったりすると思うので、本当に来てもらえるのかどうなのか、つながりとかは全くないので、本当にアイデアで思いついたただけだが、市民とセッションできたら楽しいのではないかと思う。

⑪ たのしいミュージカル

- ・四季劇場でやるような公演を持ってくるというのは、ここの会場の場合は難しいとは思いますが、ミュージカルへの近づきができるような何かができるのではないかなと思う。直接に劇団関係とつながりがあるわけではないが、何年か前に子供向けのミュージカルをジュピターホールでされたように思う。それを見に行ったときに、やはり同じミュージカルでも質がいいと感じた。
- ・『ムコムジカ』みたいに、みんながそこにワークショップのような形で、そのミュージカルの入門のようなことを体験できる、子供たちで親しめるような、そういう場をそれぞれ持てるような、そんな形のことができないかなど。だから、ただ鑑賞するというだけではなくて、そういう体験を通した形でミュージカルに親しめる、そういう場がつけられたらと思う。

⑫ 人形劇団クラルテ、11ぴきのねこシリーズ

- ・現在、この事業については、養父のビバホールの企画集団のほうで毎年恒例でされているが、大変子供に人気のある人形劇となっており、ビバホールでは定員を超えるような申込みもあるので、ぜひこれからはYBファブ、少しでも大きなホールのほうでできたらなという思い。これまでの引き続きの事業だが、今後、YBファブでということ検討していただけたら。

⑬ 落語 in おおや！素人名人会

- ・これはおおやホールの行事として、今年度で14回目を実施してきたが、ここの候補にあげているアーティストは、皆、アマチュアだが、全国の落語の大会で上位入賞したことのあるような方ばかりが集まっている。毎年7、8人集めて、そして、その方におおやホールに来ていただいて公演してもらおうと。

- ・150席が毎回満席。これはおおやホールでの主催事業としてやっていきたい。毎年夏にやっていたが、今、おおやホール、空調が壊れており秋の開催予定。

⑭ 野外アート展（参考資料2 参照）

- ・私と友人を誘った現代アートの展覧会を野外ですというプラン。
- ・働いており、夏しかまとまって制作する時間がないので、夏の開催を希望している。そのほかのメンバーも、秋には小豆島のほうで作品展示があるとか、いろいろなプランがあるので。
- ・但馬の自然をテーマに、にぎやかで、お祝いのような、お祭りのような現代アートの展覧会を開催する。コロナで縮んだ心を解放するエネルギーに満ちた展覧会。久しぶりに故郷に帰ってきた人々が楽しく集える場所にしたいというコンセプトで練っている。
- ・ワークショップもできたらと思う。場所はY Bファブの芝生広場と小路を使ってできるのではないかと考えている。

⑮ 学級で静かに困っている子たちを何とかしたい！！

- ・この方は、豊岡市で長い間先生をされており、今は退職して、豊岡で学習障害のある子供たち対象の児童クラブをつくっておられる。この方の発達障害のある子供たちを何とかしたいという講義を聞いて、講習を受けた。養父市でも家庭で困っている子たちを何とかしたいなということを知り、一度プランを出してみますというお話をし、この案を出した。

⑯ 子どもたちの心の声を聴いていますか

- ・障がい理解や子育てに関する講演や、ワークショップの案。
- ・この方の子供さんが先天性の難聴で、耳が聞こえない状態の方でそういった子育ての経験から、子供がどういうふうに思っているかということをしつかりと親が理解するとか、親子の関係性、子育てで困っている親御さん、別に障がいあるなしにかかわらず子供の気持ちだったりということをしつかり聞いていこうという内容。

⑰ 知っているだけで救える命がある～防災と障がい理解～

- ・障がいの理解に加えて、防災士でもあるので、防災についての活動もされている。健常者でさえも防災のときは慌てるもので、防災訓練とかはしているがいろんな障がいを持った方も身近にはいるということを知っているだけで、健常者が手伝えることもあるので、防災についてしつかり学んでいければ。

⑱ 私たちの町のおすすめを外国の方に紹介しよう！

- ・養父市内には大勢ALTの先生、外国語指導助手の先生が小学校や中学校に来ておられる。以前、英会話教室で、町のお勧めを紹介する発表を行った際、養父神社の由来やお祭りの由来など知れてうれしかったと先生に喜ばれた。
- ・今の子供たちの英語教育というのは、簡単な言葉で説明するということがすごく重要視されているかと思う。小・中学生、高校生だけでなく、一般の人も、自分が感じていることだとか生活とかいろんなことを発信できるような、そういう場を設けたらどうかと思い提案した。

⑲ オンラインで世界を旅しよう①～カナディアンロッキーの自然

- ・私の知り合いにカナダで現地のガイドされている方を知っているので提案するが、コロナ禍の時代、海外に行きたい方も行けず、行くまでもないけれども、日本にいてそれらが見たいという方であれば、カナダの自然や動物等も併せて紹介してもらったら楽しいのではないかな。
- ・これはホールとかではなく、もう少し小さい規模でいいかなと思う。
- ・この方は、オンライン授業みたいなことにも力を入れておられるので、そういったところで何かできれば面白いのではないかな。これを皮切りに、ほかの国の方とつながっていき、シリーズ化するといいいのではないかなと思う。

⑳ 前澤友作さんにきいてみよう

- ・ちょうどこのアイデアを出した頃に前澤さんが宇宙に行かれた頃だったので、そういった経験などを子供たちに聞かせてもらえたらとても面白いのではないかなと思った。前澤さんに限らず、何かしら活躍されている方を呼んでできたらいいかなと思う。

㉑ アートバス

- ・但馬各地でいろんな展覧会や芝居、講演があるので、それらに関心はあるけれども、連れがあったらいいなとか、足があったら行きたいなという人たちを、アートバスで連れて行ってあげたらいいかなと思う。
- ・バスガイドのように、アートに詳しい人にナビゲーターとして案内してもらおうのがいいのではと思う。

㉒ Y B f a b ファンクラブ

- ・楽しい思いをしたという感想等をホームページ、SNSで上げて、それを見た人が、いろんな思いを語ったりする仲間ができたらいいなと思った。

⑳ でっかい夢の書き初め展

- ・みんなで書に親しむ文化、書き初めというものを基にしながら、でっかいのを書いてみようとおおやホールで14年ほど毎年企画しているもの。
- ・20メートルの長さの和紙に、思い切り大きな字が書ける、そして、そこで書いた自分の思いや決意というものを、1月中、大屋の地域局のロビーに展示している。
- ・それに併せて、ホールにベーゼンドルファーのピアノがあるので、ピアニストを呼んで、そこでずっとBGMを流してもらったり、リクエストに応じて演奏してもらっている。毎年、大体60人ぐらいが参加する行事として続いている。
- ・おおやホールで1月の初めに実施するものとして考えている。

【意見交換】

- ・アートバスに関して、近隣ではないが、今年、3年に一度の瀬戸内国際芸術祭の年だったと思うので、こういうところに足を運ぶのも面白いのかなと思う。但馬地域全体をアートで盛り上げようということだと思うので、そのような先進地域に行くことで何かしら刺激を受けて、してみたいと思えるかなと。
- ・どういうふうこれらの提案を予算の枠の中で決めていくのかという判定基準が難しいなと思う。
- ・ある程度中長期的に、ホールや養父市の全体に対するブランディングとしてどういうストーリーを書くのか考えるべき。大きな物語というのはすごく大事なことで、瀬戸芸にしても当初は先代の理想の下に始まったということが、四半世紀たってここまでくるということなので、四半世紀ぐらいのつもりで、今、この議論しなければいけない。
- ・このホールが何をメインで売っていくかというのはとても重要で、このシリーズをするのか、それとも一回ずつ企画をしていくのかというので大きく変わってくる。音響のいいホールなので、まずそれをどのように活用するのかということ、あと、子供へのアプローチをどのように考えるのかという観点で、長期的にプログラムを考えていけたらいいのでは。
- ・教育委員会等のすみ分けについて、障がい、特別支援教育等の分野については、教育委員会や生涯福祉の担当課が、ある程度方向性を持って取り組んでいる部分もあると思うので、そちらと協議しながら進めていくのがいいと思っている。
- ・例えば、演奏プログラムの中で各国の要素を含めたり、そこにゲストとして地元で活動されている外国人の方を招いたり、障がいを持った方にも来ていただけるような工夫をしたイベント等、今回いただいた個々の企画そのものを少し俯瞰して、テーマという形で受け取って、さらに企画をブラッシュアップすることもできるのではないかなと思う。

- ・ストーリー等、軸をはっきりしないと何のためにこのイベントをするのがぶれるかなとは思っている。キャッチコピーみたいなものがあると分かりやすいのかなと。一回、瀬戸芸に行くのも一つの手かなと思う。きちんとストーリーがあり実施しているところというのは、地域おこしや観光業にもなっているし、いろいろと派生していくので、それが芸術だけではない分野にまで広がっていくすばらしい例だと思う。そこまで行かなくても但馬はすごい魅力があり、但馬の中の養父というような感じで考えられるとまた面白いのかなと思う。
- ・提案の中でY Bファブやおおやホールでという事業、ホールの指定を書いていない事業もあるので、また学識の先生方と御相談していく中で、4つのホールがうまく機能するような形で計画を立てていきたい。
- ・この企画案を基に来年度の事業、令和5年度の事業についても考えていきたい。
- ・Y Bファブが音楽にかなり特化した機能を備えているということや、青柳先生がおられ、クラシックへのつながりをかなり持っておられるので、ぜひクラシック音楽を地域で広めていくという一つのステップにもなるような、そんな企画を一つ柱として入れていただきたい。

5. 閉会